

## ブルキナファソ・カメルーン共和国の幼児教育の比較研究 —公立幼稚園\*の教育プログラムを中心として—

A Comparative Study of Early Childhood Education in Burkina Faso and Republic of Cameroon  
— Focusing on the Educational Program in Public Kindergarten —

舟津香菜美

Kanami FUNATSU

鳴門教育大学

Naruto University of Education

### 要約

本稿は、主に2017-2018年度のブルキナファソ及びカメルーン共和国の公立幼稚園で行われている幼児教育について、教育プログラムを中心に比較したものである。共通点として両国の幼児教育は小学校の就学準備を目的とし、画一的なカリキュラムと方法で教育を行っていること、そして、ナショナルカリキュラムには共通項目が多いことが明らかになった。異なる点として戸外で行われる活動等があり、制度や文化的背景などが影響している可能性がある。

キーワード：ブルキナファソ、カメルーン共和国、幼稚園、幼児教育

### 1. はじめに

#### (1) 研究の目的

ブルキナファソ及びカメルーン共和国（以下「カメルーン」）は両国ともにフランスの植民地であった時代があり、1960年に独立した。両国では現在も公用語としてフランス語が使用されており、幼稚園を含む学校教育でも広く使用されている。学校教育においてフランス植民地時代の影響が今も残っており、両国の幼児教育には類似点がある。但し、文化や制度などの背景の違いもあり、両国の教育プログラムや実際の教育には相違点がある。本稿では、筆者が2013年7月から2015年12月及び2018年2月から3月にブルキナファソ、2017年9月から12月までカメルーンに滞在していた際に得られた文書、記録などを基に、両国

の幼児教育を2017-2018年度現在の公立幼稚園で行われている教育プログラムを中心に比較し、その異同を明らかにすることを目的とする。

#### (2) ブルキナファソの背景

ブルキナファソは西アフリカに位置する内陸国で乾燥している地域が多く、モシ族、ジュラ族などを含む70近くの民族が生活している。公用語はフランス語であり、幼稚園を含む多くの学校ではフランス語で教育が行われている（一部、現地語で教える学校がある）。しかし、家庭内や日常生活の多くの場面ではそれぞれの民族の言葉（現地語）が使用されている。後発開発途上国の一つとされており<sup>1</sup>、幼稚園の就園率は4%である<sup>2</sup>。近年、首都を中心に私立幼稚園が増えているが、幼稚園に通うことはまだ一般的とは言えない状況である。

\* 各国で幼児教育・保育施設の呼び方や制度は異なるため、必ずしも日本の幼稚園と一致するものではないが、本稿では、主に3(4)～6歳の子どもが通う、ブルキナファソ及びカメルーン共和国の幼児教育・保育施設を示す共通の言葉として幼稚園を用いる。

<sup>1</sup> 外務省「貿易と開発 後発開発途上国 (LDC: Least Developed Country)」 < [https://www.mofa.go.jp/mofaj/gaiko/ohrlls/ldc\\_teigi.html](https://www.mofa.go.jp/mofaj/gaiko/ohrlls/ldc_teigi.html) > 2018年11月2日最終閲覧

<sup>2</sup> UNESCO(2016) Global Education Monitoring Report 2016: Education for people and planet: Creating sustainable futures for all, UNESCO:Paris, pp.427.

### (3) カメルーンの背景

カメルーンは中央アフリカに位置し、南部は熱帯湿潤地帯、中部は熱帯湿潤乾燥地帯、北部は半乾燥地帯と複数の気候帯を擁する気候条件を持つ国であり、ドゥアラ族、バミレケ族などを含む240以上の民族や部族が生活している。全10州のうち8州は元フランス植民地の仏語圏、西部ナイジェリア寄りに位置する2州は元イギリス植民地の英語圏であり、フランス語と英語が公用語として使用されている。現地語も多く存在するが、仏語圏において日常生活の多くはフランス語が使用されている。

学校教育は英語システムと仏語システムがあり、家庭での言語とは関係なく選ぶことができる。幼稚園の就園率は34%<sup>3</sup>であるが、浜野・三輪（2012）によれば、2007 - 2008年度の州別の就園率が、首都を含む中央州では40%以上であるのに対し、極北州は5%以下と国内の就園率は地域格差が大きい<sup>4</sup>。

## 2. 幼児教育の概要

### (1) ブルキナファソの幼児教育

ブルキナファソの幼稚園はCEEP (Centre d'Éveil et d'Éducation Préscolaire)、知能の目覚めと就学前教育の施設と呼ばれ、3歳から6歳まで、小学校に入学する前の3年間の幼児が対象となっている。以前はGarderieという託児所の意味合いを持つ言葉で呼ばれていた。基本的に幼稚園の教育ではフランス語が使用されているが、家庭では現地語で生活をしているため、教員はその地方で多く使用されている現地語を交えながら活動を行うことが多い。Bi-songo (現地語で元気な子の意味) と呼ばれる現地語で教育を行う幼稚園もあるが、本稿の幼稚園はCEEPを対象とし、Bi-songoは対象としない。

幼稚園は現在、国民教育・識字省 (Ministère de l'Éducation Nationale et l'Alphabetisation) が管轄しているが、2015年頃までは社会行動・国民連帯省 (Ministère de l'Action Sociale et Solidarité Nationale)

という、社会福祉、特に女性・子ども・青少年・社会的弱者の人権、家族問題に取り組んでいる省庁が管轄していた。そのため、公立幼稚園の教員養成は2018年現在も南西部州、ポニ県、ガウア市にある社会行動・国民連帯省の養成施設である社会福祉職養成国立学院 (Institut National de Formation en Travail Social) で行われている。

国家公務員である教員は、高校入学資格又は大学入学資格を持ち、公務員試験に合格した後2年間養成施設で幼児教育について学ぶ。高校入学資格で教員になった者も一定の職務期間を経て、昇進の試験に合格すると、再び教員養成施設で学び、大学入学資格を持って教員になった者と同じ資格を得て働くことができる。公立幼稚園には国家公務員の教員とは別に、市によって雇われている教員がいる。国家公務員の教員は男性も女性もいるのに対し、市から雇われている教員のほとんどは女性で、養成施設で幼児教育について学んだことはなく、資格は持っていない。

ブルキナファソの公立幼稚園の教員は乳幼児教育指導員 (éducateur de jeunes enfants/ 大学入学資格を持つ者) 又は乳幼児教育指導補助員 (moniteur d'éducation de jeunes enfants/ 高校入学資格を持つ者) という専門職であり、教育 (指導) 対象は0歳から6歳の乳幼児である。フランスでは乳幼児教育指導員は一般的な幼稚園にあたる保育学校 (École maternelle) ではなく、保育所 (Crèche/ 主に0歳～3歳頃の乳幼児が対象) や幼稚園 (Jardin d'enfants/ 主に2歳～6歳の幼児が対象)、乳幼児保護センター、小児病棟、母子クリニックなど多様な保育施設で働く職のことである<sup>5</sup>。ブルキナファソの幼稚園はフランスの保育学校ではなく、保育所や幼稚園がルーツになっている可能性があると考えられる。

### (2) カメルーンの幼児教育

カメルーンの子育ては保育学校、École Maternelle 又はNursery Schoolと呼ばれる。浜野・三輪（2012）は「フランスでは、幼稚園のことをécole maternelle

<sup>3</sup> UNESCO (2016) Global Education Monitoring Report 2016: Education for people and planet: Creating sustainable futures for all, UNESCO: Paris, pp.427.

<sup>4</sup> 浜野隆, 三輪千明 (2012) 『発展途上国の保育と国際協力』東信堂, 147頁。

注: 浜野・三輪は首都を含むCentre regionを中部州と訳しているが、本稿では中央州として統一した。また、就学率を就園率の表記で統一している。浜野・三輪によると2007 - 2008年度の各州の総就学率は、アダマウア州 8.14%, 中部州 43.26%, 東部州 20.03%, 極北州 2.82%, 沿岸州 38.26%, 北部州 3.74%, 北西部州 18.18%, 西部州 17.97%, 南部州 23.66%, 南西部州 17.62% である。

<sup>5</sup> パメラ・オーバーヒューマ, ミハエラ・ウーリッチ (2004) 『ヨーロッパの保育と保育者養成』大阪公立大学共同出版会, 83頁 - 94頁。

注: パメラ, ミハエラはフランスのÉcole maternelleを母親学校と記しているが、本稿では、現在日本語訳で多く使用されている保育学校を用いる。

<sup>6</sup> 浜野隆, 三輪千明, 前掲書, 46頁。

というのが école とはまさに「学校」であり、幼稚園は「学校」教育の最初の段階として捉えられていることがわかる。そして、フランスの支配を受けた国々もこの影響を受け、教育内容面でも教育方法面でも幼稚園が「ミニ小学校」化している場合が多い<sup>6</sup>と述べている。カメルーンの幼稚園の場合、École maternelle と呼ばれていることからこの状況が顕著であることが分かる。

公立幼稚園は4歳から6歳まで、小学校入学前の2年間の幼児を対象としており、仏語システムの幼稚園はフランス語で、英語システムの幼稚園は英語で教育を行っている。仏語圏の仏語システムの幼稚園は家庭での言語と園での使用言語が同じ場合がほとんどであるが、英語システムの幼稚園では家庭と園の使用言語が異なることも多く、状況によってはフランス語を交えながら活動が行われる。

幼稚園と小学校は初等教育省 (Ministère de l'Éducation de Base) の管轄で、幼稚園と小学校で働く教員は instituteur (institutrice) という専門職である。教員養成は幼稚園教員と小学校教員の区別がなく同じであり、中等教育省 (Ministère des Enseignements Secondaires) が管轄する普通教育教員養成校 (école normale instituteur enseignement général) で行われている。卒業後、保育学校又は小学校 (École primaire) で働くことができるが、ブルキナファソのように必ず全員公務員として勤務できるわけではない。公務員として勤務を始めた後、校種の異なる幼稚園と小学校の間で異動することはそれほど多くないようである。また、幼稚園で勤務している教員の中には小学校でしか実習をしていない者も多い。

教員養成は中学校卒業、高校卒業、大学卒業に応じて3年、2年、1年の養成期間を経て教員の資格を得る。公立幼稚園には公務員として勤務する教員だけでなく、園から雇用されている教員もいる。公務員の教員も園から雇用されている教員も養成校を卒業しており、ほとんどが女性である。

フランスの保育学校の教員は1991年以前 instituteur (institutrice) と呼ばれており、保育学校又は小学校で働くことができる<sup>7</sup>。この点はカメルーンの幼児教育と共通しており、カメルーンの幼稚園はフランスの保育学校がルーツと考えることができる。

### (3) 両国の幼児教育の概要から見えるもの

両国は共にフランスの元植民地であり、幼児教育においてもフランスの影響を受けている点は同じである。しかし、ブルキナファソの幼稚園はフランスの保育所や幼稚園をルーツにしていると考えられるのに対し、カメルーンは学校としての保育学校をルーツにしていると考えられる。さらに、ブルキナファソでの教員養成は現在も福祉的な省庁が行っており、小学校とは別の教育課程で幼稚園の教員が養成されている。カメルーンは教育系の省庁が教員養成を行っているが、その養成課程は小学校の教員と同じである。これらの相違は同じフランスの影響を受ける両国で実際に行われる幼児教育の違いをつくる要因の一つになっていると考えられるだろう。

## 3. 公立幼稚園の教育

ここでは、筆者が滞在中に得た文書や記録などから、主に両国の公立幼稚園で一般的に行われている教育について記述する。なお、筆者がこれまでに訪問したことのある公立幼稚園はブルキナファソ23園、カメルーン9園である。

### (1) 年間プログラムと年齢クラス

#### ① ブルキナファソ

ブルキナファソの公立幼稚園の年間プログラムは各クラスの担任が作成し、クラスの部屋の中に掲示される(図1)。

図1はブルキナファソのある公立幼稚園の Grande Section (年長クラス) の2017 - 2018年度の年間プログラムである。国が発行している6冊ほどのテキストなどを参考にし、各クラスの担任が作成する。そのため、園ごと、クラスごとにプログラムが若干異なる。

このクラスの場合 Activité d'éveil math (算数のめざめ活動) や Activité de prélecture (読み取り方の前の活動)、Activité de graphisme (線描活動) などはテキストに沿って内容まで記入してあるが、Activité langagiere (言語活動) や Activité musical (音楽活動) などは大まかにしか内容は記入されていない。

幼稚園は Petite Section (3 - 4歳児/年少クラス)、Moyene Section (4 - 5歳児/年中クラス)、Grande

<sup>7</sup> パメラ・オーバーヒューマ、ミハエラ・ウーリッチ、前掲書、83頁-94頁。

注：パメラ、ミハエラによると、フランスの母親学校で働く職員は1991年以前 institutrice/instituteur (教員) であったが、1991 - 92年以降 professeur des écoles (学校教員) になった。養成教育に関して、1991年以前は école normale (大学外の高等師範学校) において2年間の養成であったが、1991 - 92年以降は IUFM (institut universitaire de formation des maîtres = 大卒教員のための養成機関であり、1校あるいは複数の大学と連携して1つの学区 académie を形成) で行われる。養成内容には2 - 11歳の年齢層を対象とした幼児教育と初等教育が含まれる。OECD 保育白書 (2011) ではフランスの professeur des écoles の養成に関して、4年制大学学位に加え18 - 24か月の大学院での専門家教育が行われることが記されている。

PLAN D'ACTION DU PROJET PEDAGOGIQUE

THEME: L'expression orale en langue française: l'acte d'oral et d'écrit de l'enfant

BUT: Améliorer l'expression orale en langue française chez le jeune enfant

ANNEE	PROBLEMATIQUE	OBJECTIF	CONTENU	ACTIVITE	MOYENS	RESOURCES	EVALUATION
2017-2018	Le langage oral et écrit	Améliorer l'expression orale en langue française chez le jeune enfant	Le langage oral et écrit	Le langage oral et écrit	Le langage oral et écrit	Le langage oral et écrit	Le langage oral et écrit
2018-2019	Le langage oral et écrit	Améliorer l'expression orale en langue française chez le jeune enfant	Le langage oral et écrit	Le langage oral et écrit	Le langage oral et écrit	Le langage oral et écrit	Le langage oral et écrit
2019-2020	Le langage oral et écrit	Améliorer l'expression orale en langue française chez le jeune enfant	Le langage oral et écrit	Le langage oral et écrit	Le langage oral et écrit	Le langage oral et écrit	Le langage oral et écrit

図1 Grande Section (年長 / 5-6 歳児) の年間プログラム (ブルキナファソ)

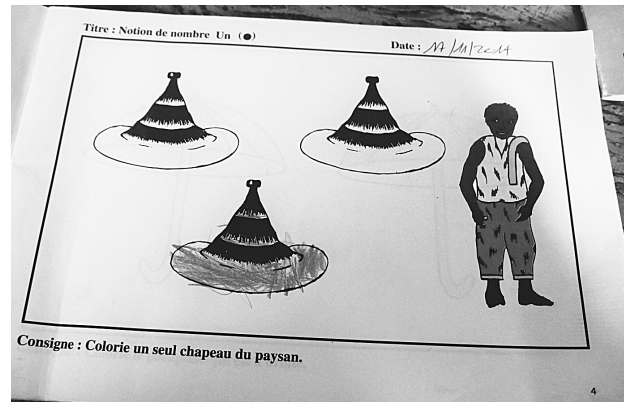


図2 Grande Section (年長) の Activité d'éveil math (算数のめざめ活動) のテキスト (ブルキナファソ)

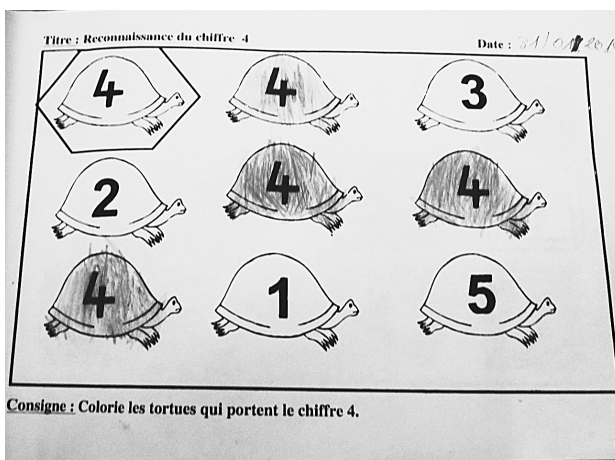


図3 Grande Section (年長) の Activité de prélecture (読み取り方の前の活動) のテキスト (ブルキナファソ)

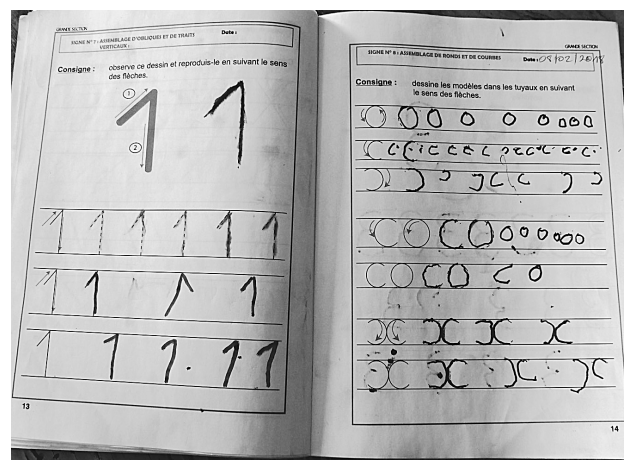


図4 Grande Section (年長) の Activité de graphisme (線描活動) のテキスト (ブルキナファソ)

Section (5 - 6 歳児 / 年長クラス) と 3 つの年齢別のクラス区分がある。3 年間在園する子どももいるが全員ではなく、年中から 2 年間、年長から 1 年間というように、子どもにより在園期間が異なり、入園受付は毎年行われる。教員たちの話では、各年齢に毎年新入園児がいるため、年間プログラムに示される教育内容には必ず前の学年と同じ内容が含まれているという。また、毎年同じ内容が繰り返されることを良く思わなかったり、自分の子どもを早く小学校に入れたと考えたりする保護者が多いことから、年中修了後、年長に進まず、そのまま小学校に入学させる家庭が多い。

ブルキナファソ首都の公立幼稚園の年間学費は約 50,000Fcf (日本円で約 1 万円) である。2009 年より公立幼稚園の運営は市役所が管轄しており、納められ

た学費は市役所が管理し、市役所から各幼稚園にテキストや教材が支給される。毎日 10 時に提供される軽食や遠足の代金、公務員ではない教員 (Monitrice) や園の警備員 (Gardien) の雇用費も学費で賄われている。それに対し、公立小学校は原則無料であり、必要に応じて日本円で数十円から数百円徴収することもあるが、幼稚園に比べてかかる費用が安い。午前で終了する幼稚園と比較すると、午後まで授業がある小学校への早期入学は、他の子よりも早く進級するという社会的ステータスを得るためだけでなく、経済的理由や子どもを預かる時間の長さとも関係しているだろう。

## ② カメルーン

カメルーンの幼稚園の年間プログラムは 2017 - 2018 年度現在、州ごとに基礎教育省の州事務所が発

<sup>8</sup> Ministère de l' Education de Base Délégation Régionale du Centre Inspection de coordination des enseignements Inspection régionale de pédagogie en charge de l' enseignement maternel "REPARTITIONS SEQUENTIELLES HARMONISEES DES ECOLES MATERNELLES DE LA REGION DU CENTRE DEUXIEME ANNEE" pp20-22.

INITIATION MATHÉMATIQUE			
Semaines	Contenus d'apprentissage	Objectifs d'apprentissage	Séquences
1 <sup>ère</sup>	Les tris Les tris divers	Trier les objets en fonction de leur nature	1 <sup>ère</sup>
2 <sup>ème</sup>	Tris avec consignes Orientés vers la notion de quantité	Trier les objets en fonction de leurs couleurs en tenant compte des notions de quantité	
3 <sup>ème</sup>	Tris avec consignes orientés vers la notion de grandeurs	Trier les objets en fonction de leur formes en tenant compte de leur <del>tailles</del> grandeurs	
4 <sup>ème</sup>	Tris avec consignes	Trier les objets en fonction de leur dimension en les classant	
5 <sup>ème</sup>	Tris avec consignes	Trier les objets en faisant simultanément intervenir deux ou trois propriétés (couleur – tailles – formes...)	
6 <sup>ème</sup>	Tris avec consignes	Evaluation et remédiations	
1 <sup>ère</sup>	Les ensembles	Identifier la notion d'ensemble (filles, garçons)	2 <sup>ème</sup>
2 <sup>ème</sup>	Constitutions des ensembles	Constituer les ensembles selon l'appartenance à un groupe-classe	
3 <sup>ème</sup>	Constitution et définition des ensembles en extension	Énumérer les éléments des différents ensembles	
4 <sup>ème</sup>	Constitution et définition des ensembles en compréhension	Définir les ensembles en énonçant les attributs de leurs éléments.	
5 <sup>ème</sup>	Appartenance et non appartenance	- identifier un ensemble vide selon la consigne - ranger les objets selon leur appartenance ou non-appartenance	
6 <sup>ème</sup>	Récapitulation – évaluation	Consolider les acquis	
1 <sup>ère</sup>	Correspondance	Disposer plus de... que de.... Réunir deux ensembles	3 <sup>ème</sup>
2 <sup>ème</sup>	Intersection de deux ensembles	Identifier les éléments ayant à la fois les propriétés de deux ensembles	
3 <sup>ème</sup>	Etude des nombres de 1 à 3	Compter – écrire et comparer les nombres et quantités.	
4 <sup>ème</sup>	Etude des nombres de 3 à 5	Compter – décompter – écrire et comparer les nombres et quantités	
5 <sup>ème</sup>	Etude du nombre 6	Compter et décompter de 1 à 6 représenter en quantité et en nombre	
6 <sup>ème</sup>	Récapitulation – évaluation	Consolider les acquis	
1 <sup>ère</sup>	Etude du nombre 7 Utilisation du signe +	Compter et décompter de 1 à 7 Représenter 7 en quantité et en nombre Manipuler les objets en utilisant le signe +	4 <sup>ème</sup>
2 <sup>ème</sup>	Etude nombre 8	Compter et décompter de 1 à 8 Représenter 8 en quantité et en nombre	
3 <sup>ème</sup>	Etude du nombre 9 Utilisation du signe -	Compter et décompter de 1 à 9 Représenter 8 en quantité et en nombre Manipuler les objets en utilisant le signe -	
4 <sup>ème</sup>	Etude nombre 10	Compter et décompter de 1 à 10 Représenter 8 en quantité et en nombre	
5 <sup>ème</sup>	Utilisation du signe =	Manipuler les objets en utilisant le signe = (égal, il reste)	
6 <sup>ème</sup>	Récapitulation – évaluation	Consolider les acquis	
1 <sup>ère</sup>	Alignements divers	Aligner les objets horizontalement et verticalement	5 <sup>ème</sup>
2 <sup>ème</sup>	Alignement avec alternances	Aligner les objets avec alternances	
3 <sup>ème</sup>	Empilages divers	Empiler les objets avec alternances	
4 <sup>ème</sup>	Placement d'objets à partir d'un espace donné	Placer les dans à côté – sur – sous – en haut – en bas	
5 <sup>ème</sup>	Sens et direction d'un trajet	Se déplacer suivant un parcours fléchés	
6 <sup>ème</sup>	Récapitulation – évaluation	Consolider les acquis	
1 <sup>ère</sup>	Alignements divers	Aligner les objets horizontalement et verticalement	6 <sup>ème</sup>
2 <sup>ème</sup>	Alignement avec alternances	Aligner les objets avec alternances	
3 <sup>ème</sup>	Empilages divers	Empiler les objets avec alternances	
4 <sup>ème</sup>	Placement d'objets à partir	Placer les objets à l'intérieur puis à l'extérieur, en haut, en bas	
5 <sup>ème</sup>	Sens et direction d'un trajet	Se déplacer suivant un parcours fléchés ou un itinéraire	
6 <sup>ème</sup>	Récapitulation – évaluation	Consolider les acquis	

図5 中央州2年目クラス(5-6歳児)の算数の手ほどの授業年間プログラム(カメルーン)

行しており、どの週にどのような内容を行うか詳細に決められている(図5)。<sup>8</sup>

カメルーンの公立幼稚園は基本的に4-5歳児が在籍する première année と呼ばれる1年目クラスと5-6歳児 deuxième année と呼ばれる2年目クラスの2つの区分でクラスが編成されている。なお、英語システムの園では1年目を nursery one、2年目を nursery two としている。仏語システムの幼稚園では既述のように呼ばず、1年目クラスを moyenne section (年中クラス)、2年目を grande section (年長クラス)と呼んでいることが多い。また、1年目クラスには4歳以下の子どもが混ざっていることが多い。

活動内容は似ているものもあるが、2年目の方が1年目よりも発展的になるように記入されていることが多い。また、中央州が発行しているプログラムにある15の活動のうち、1年目クラスは prélecture (読み取り方の前の活動)があるが、2年目では Initiation a la langue écrite (書き言葉の手ほどき)の活動になっている。1年目クラスと2年目クラスの活動内容にはこ

うした違いがある。

1年は1期から6期までの6つの期間に区分されており、期の中はさらに6週に分けられ、各活動の学習内容と学習目標は週ごとに決まっている。また、期ごとにテーマが設けられており、学習内容や学習目的と組み合わせられて活動が行われるようになっている。

テキストはいくつかの会社から発行されているが、使用している幼稚園と使用していない幼稚園がある。テキストを使用していない幼稚園ではノートを数冊使用して勉強している。ノートは週末の宿題用にも使用される。園によっては、休憩時間やクラス活動の時間に子どもを待たせ、教員が手書きで一人ひとりノートに課題を書くということもある。

なお、カメルーンの公立幼稚園の年間学費 7,500Fcf (約1,500円)は園で管理され、教材や園で雇う教員の給与などに充てられている。先に述べたように、カメルーンの就園率が34%なのに対しブルキナファソの就園率は4%と低い。この差には、ブルキナファソの幼稚園施設の数が不足しているということだけでなく、両国の学費が6倍以上違うということも影響しているだろう。

## (2) 時間割と活動内容

### ① ブルキナファソ

ブルキナファソの公立幼稚園は年間プログラムと同様に、各クラスの担当が時間割を作成し、クラス内に掲示される(図6)。

	Lundi	Mardi	Mercredi	Jeudi	Vendredi
8h00-8h30	Accueil - Deux livres				
8h30-9h00	Activité de vie pratique				
9h00-9h30	Education	Enseil	Prélecture	Animation	Exerc
9h30-10h00	Notie	Mathématique		Général	Mathématiques
10h00-10h30	Passage au Toilette				
10h30-11h00	Activités langagières	Enseil mathématique	Prélecture	Graphisme	Solo des activités
11h00-11h30	Garde - Recreation				
11h30-12h00	Retour en classe				
12h00-12h30	Littérature enfantine	Activité sensorielle	Education musicale	Jeux orientés ou conte récréatif	Animation ou Travaux manuels
12h30-13h00	Sortie ET départ des Enfants				

図6 Grande Section(年長)の時間割(ブルキナファソ)

図6は図1で示した年長クラスの時間割である。園やクラスにより内容に若干の違いはあるが、時間の区切り方は公立園であれば基本的に同じであり、午前みの活動である。

まず、子どもたちは朝6時45分から8時までの間に登園し、登園次第自由に戸外遊びをする。8時まで

の間は、園の警備員や当番の教員が子どもの受け入れをし、当番以外の教員は8時までに順次出勤し、必要に応じてその日の活動準備を行う。

次に、8時からは全園児で歌や踊り、国家などを歌ったり、それぞれのクラスで生活に関する学習活動を行ったりする。その後、8時15分から30分間は戸外で運動や体を動かしながら数、文字、色などを学ぶ。曜日により活動が決まっており、それに応じた内容の活動が行われる。例えば、図6では月曜日、運動(Education Motrice)を行うことになっている。運動の活動で、子どもたちは決まった区画の中で、教員が指定した動きを行い、その後、自分の行った動きをフランス語で言う。例えば、アヒル歩きであれば、グループごとに区画の端から端まで歩いた後「私はアヒル歩きをします。」というフランス語を言うことになる。このフランス語のフレーズを言う活動は、火曜日の算数のめざめ(Eveil Mathématique)や水曜日の読み取り方の前の活動(prélecture)の活動の中でも行われており、地面に置かれた数字カードを拾い「私は数字の1を提示しています。」と言ったり、用意された色の椅子の近くに立ち「私たちは赤色の近くに立っています。」と言ったりする。活動そのものの内容だけでなく、フランス語を使うこと、使えるようになることが大切にされているのである。

戸外活動の後はクラスごとに並んでトイレに行き、手を洗った後、クラス内で1時間の活動が始まる。戸外で行った活動を室内で復習した後に、学習内容が書かれているテキストを行うことが多い。

多くのブルキナファソの公立幼稚園では一クラスに40人から80人程の子どもが在籍している。そのため、ほとんどの幼稚園では全員分の椅子がない。椅子に座れない子どもたちは床にひかれたゴザに座る。全員で同時にテキストに書き込み勉強することは出来ないため、いくつかのグループの子どもたちがテキストで勉強している間、他の子どもたちはグループごとに指定された遊びを行う。遊びが用意されない場合はただゴザに座り自分の番が来るのを待っている。

1時間のクラス内での活動の後は、10時から軽食と休み時間になる。軽食は園ごとに曜日でメニューが決まっており、サンドイッチやおかゆ、リグラ(現地の炊き込みご飯)やマカロニ、フルーツ、揚げ菓子などがある。これらは年間学費に含まれており、毎日調理員が用意している。「いただきます」という言葉はないが、手を洗い、配膳を受け取り、全員で歌を歌って

から一緒に食べ始める光景は日本の給食のようである。食べ終わった子どもから順次、戸外で自由に遊び始める。この休み時間は教員にとっても休み時間である。教員は戸外の木陰の下で休みながら、子どもが遊びでけがをしないように見守っていることが多い。

11時からの30分間が一日の中での最後の活動である。音楽(Education Musicale)や手作業(Travaux manuels)など、情操教育的な活動が行われることが多い。

その後、11時30分から13時までが降園時間であり、保護者が迎えに来る。子どもの連れ去りや引き取り間違い防止のために、保護者は自分の子どもの顔写真入りのカードを提示し、子どもを引き取ることになっている。また、お迎えが遅れ13時以降になってしまった場合、1時間ごとに1000Fcf(約200円)の罰金を払うことになっている。子どものお迎えを忘れてしまう保護者がいるためこのような制度があるということであった。このような降園時のシステムは、学校というよりも子どもを守る福祉的な役割を感じる。

## ② カメルーン

図7は2017-2018年度現在のカメルーンの公立幼稚園の2年目クラスの時間割である<sup>9</sup>。年間プログラ

RYTHME DE VIE JOURNALIER

Horaires	Lundi	Mardi	Mercredi	Jedi	Vendredi
7h00 - 7h30	Accueil	Accueil	Accueil	Accueil	Accueil
7h30 - 7h45	Rassemblement et hymne national	Rassemblement / animation	Rassemblement / animation	Rassemblement / animation	Rassemblement et hymne national
7h45-8h00	Exploitation des tableaux fonctionnels	Exploitation des tableaux fonctionnels	Exploitation des tableaux fonctionnels	Exploitation des tableaux fonctionnels	Exploitation des tableaux fonctionnels
8h00-8h10	Vie pratique	Vie pratique	Vie pratique	Vie pratique	Vie pratique
8h10-8h30	Langage	Langage	Langage	Langage	Langage
8h30-8h50	Initiation mathématiques	Initiation mathématiques	Initiation mathématiques	Initiation mathématiques	Initiation mathématiques
8h50-9h10	Education sensorielle et perceptive	Education sensorielle et perceptive	Education sensorielle et perceptive	Education sensorielle et perceptive	Education sensorielle et perceptive
9h10-9h40	Passage aux toilettes - goûter - récréation	Passage aux toilettes - goûter - récréation	Passage aux toilettes - goûter - récréation	Passage aux toilettes - goûter - récréation	Passage aux toilettes - goûter - récréation
9h40-10h00	Initiation à la lecture	Initiation à la lecture	Initiation à la lecture	Initiation à la lecture	Initiation à la lecture
10h00-10h10	Initiation à l'écriture	Initiation à l'écriture	Initiation à l'écriture	Initiation à l'écriture	Initiation à l'écriture
10h00-10h25	Anglais	Anglais	Anglais	Anglais	Anglais
10h25-10h45	Initiation scientifique et technologique	Education physique et sportive	Initiation scientifique et technologique	Education physique et sportive	EPS
10h45-11h00	conte	conte	conte	conte	conte
11h00-11h30	Motricité	Peinture	motricité	Peinture	Peinture
11h30-11h45	Graphisme	Graphisme	Graphisme	Graphisme	Graphisme
11h45-11h55	Chant et éducation musicale	Chant et éducation musicale	Chant et éducation musicale	Chant et éducation musicale	Chant et éducation musicale
11h55-12h00	Passage aux toilettes	Passage aux toilettes	Passage aux toilettes	Passage aux toilettes	Passage aux toilettes
12h00-12h30	Goûter / récréation	Goûter / récréation	Sortie	Goûter / récréation	Goûter / récréation
12h30-12h40	Poésie / comptine	Poésie / comptine		Poésie / comptine	Poésie / comptine
12h40-13h05	Expression gestuelle	TIC		TIC	Expression gestuelle
13h05-13h20	Dessin	Dessin		Dessin	Dessin
13h20-13h45	Activités manuelles	-/-		Activités manuelles	-/-
13h45-13h55	Préparatifs de la sortie	Préparatifs de la sortie		Préparatifs de la sortie	Préparatifs de la sortie
13h55-14h00	Sortie	Sortie		Sortie	Sortie

図7 中央州2年目クラス(5-6歳児)の時間割(カメルーン)

<sup>9</sup> Ministère de l'Education de Base Délégation Régionale du Centre Inspection de coordination des enseignements Inspection régionale de pédagogie en charge de l'enseignement maternel "REPARTITIONS SEQUENTIELLES HARMONISEES DES ECOLES MATERNELLES DE LA REGION DU CENTRE DEUXIEME ANNEE" pp6-7.

ムと同様に州ごとに決められている。

カメルーンの幼稚園は、登園時間が7時からの30分間、水曜日以外は14時までと午後まで活動が行われており、ブルキナファソに比べて活動時間が長い。また、一つの活動時間が10分から30分程度の短い時間で一日の中にいくつもの内容が計画されており、毎日、同じ活動を行うことになっているものが多い。しかし、実際には短時間で活動が終わらず、時間割通りの活動が行われていない場合が多いようであった。

2017年に筆者が訪問した、いくつかのカメルーンの公立幼稚園は、一クラス60名を超えていることはなく、40名程度までが多かった。長机にプラスチック製の子ども椅子を使用している園が多く、訪問した園で床に座る子どもの姿はなかった。また、子ども全員が座れているためか、テキストを使った勉強はほと

んど一斉に行われていた。

算数の手ほどき (Initiation mathématique) や感覚・知覚教育 (Education sensorielle et perceptive) などの活動では、ブルキナファソと同じように、一人ひとりの子どもが「私は数字の1を書いています。」「私は2本の鉛筆を持っています。」というようなフランス語のフレーズを言う活動がある。仏語圏の家庭では日常生活でもフランス語を使用していることが多いが、子どもが正しく言えるまで教員が何度も言い直させる様子もあり、正しいフランス語を話せるようになることが大切にされている印象を受けた。

カメルーンの幼稚園の活動の多くは室内で行われており、戸外で体を動かす活動は週1、2回程度ある運動の時間のみである。

9時10分からの30分間、12時からの30分間は軽食の時間も含めた休憩時間である。この軽食は、子どもたちが持ってきたものであり、多くの子どもは通園途中に買った、お菓子やサンドイッチなどを食べている。トイレの後、それぞれ軽食をとり、食べ終わったら園庭に出て遊ぶ。トイレや手洗いの指導を意識的に日常で行っていないことが多く、施設によって使用可能なトイレがない、もしくは少ないことも多い。

14時の降園時には、たくさんの保護者が迎えに来るが、隣接する小学校から兄や姉が迎えに来ることも多いようであった。小学校が午前と午後の二部制で行われていることが多いことから、小学校の下校時間に合わせて降園時間を早めている幼稚園もある。

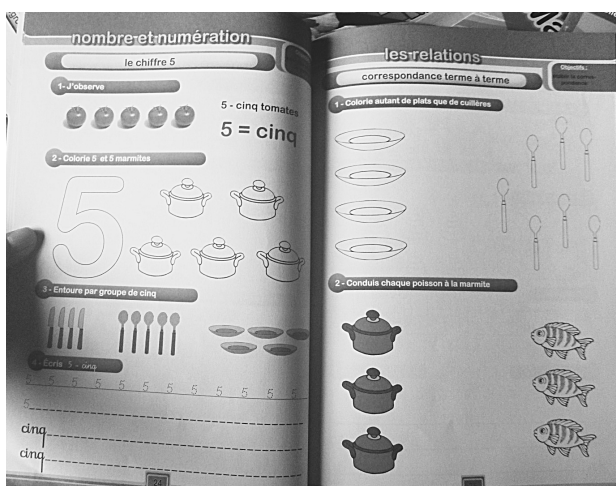


図8 仏語システム、2年目クラス(5-6歳児)の算数の手ほどきのテキスト(カメルーン)

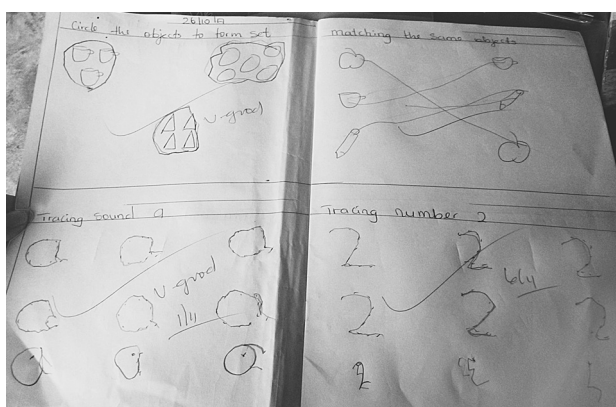


図9 英語システム、2年目クラス(5-6歳児)の教員が手書きしたノート(カメルーン)

#### 4. ブルキナファソとカメルーン共和国の幼児教育の比較と今後の課題—まとめにかえて—

ブルキナファソとカメルーンの幼児教育には共通する点が多い。まず、両国ともに時間割を有し、画一的なカリキュラムと方法で教育を行っている点である。両国のナショナルカリキュラムの目標の中に、ブルキナファソは「子どもがより簡単に小学校の課程に近づけるように援助する<sup>10)</sup>」カメルーンは「幼稚園から小学校への調和のとれた移行を準備する<sup>11)</sup>」という項目があり、ともに小学校への就学準備を目的としていることが分かる。

また、ナショナルカリキュラムの中に示される活動は生活実践活動 (Activités de vie pratique)、運動活動 (Activités motrices)、歌と音楽教育 (Chant

<sup>10)</sup> Direction de la Promotion de l' Encadrement de la Petite Enfance (1995) PROGRAMME NATIONAL D' EDUCATION PRESCOLAIRE, Ministère de l' action social et de la solidarite national, pp 5.

<sup>11)</sup> Ministère de l' Education Nationale (1887) Programme de l' Ecole Maternelle Camerounaise, Ministère de l' Education Nationale, pp11

et éducation musicale), 感覚・知覚教育 (Education sensorielle et perceptive), 手作業による活動 (Activités Manuelles), 口頭表現 (Expression orale), 線描 (Graphisme), 描画と塗り絵 (Dessin et peinture), ジェスチャー表現 (Expression gestuelle), 書き言葉の手ほどき (Initiation à la langue écrite), 算数の手ほどき (Initiation mathématique) の11項目で共通であること, そして, 各項目の前文は全くすべてではないが, 多くの文章が同じである。このようなことから, 1987年に発行されたカメルーンのカリキュラムを1995年に発行したブルキナファソが参考にした, 又は, 両国が共に参考にしたカリキュラムの元になるものがある可能性が考えられる。

両国の教育方法の共通点として, 時間割の中の分量から読み書き算数に重きが置かれている。また, 実際の活動の中で言語に関する活動以外でもフランス語のフレーズを言わせる活動がいくつも見られる点から両国ともに公用語の習得を重要視していることが考えられる。多民族, 多言語が使用される国であるためフランス語の教育が大切にされているのだろう。特に日常生活でフランス語を使用しないブルキナファソでは, 幼稚園教員の話によると保護者は幼稚園教育に子どものフランス語の獲得を期待していると言う。カメルーンの英語システムの幼稚園においても, ある保護者は, 自らは英語が分からないため子どもに英語の獲得をしてほしいという願いから英語システムの幼稚園を選択していた。言語に関する教育が重要視されているのは保護者の期待が反映されている可能性もあるだろう。

このように共通点が多い2か国の教育であるが, 両国の幼児教育の内容・プロセスには違いが見られる。まず, ブルキナファソの一日の流れはカメルーンの一日の流れよりも比較的緩やかで余裕がある。これは, 時間の割り振り方も関係していると考えられるが, ブルキナファソが年間プログラムや時間割を担当するクラスの担任が作っているのに対し, カメルーンは州の教育事務所により決められているという違い。そして, ブルキナファソの幼稚園は元々福祉系の省庁が管轄し託児所と呼ばれていた背景, カメルーンの幼稚園教員は小学校教員と同じ養成プログラムを受けて教員になっていることも関係している可能性があるだろう。

また, 活動の違いとして, ブルキナファソでは毎日, 運動や算数のめざめなどで30分の戸外での活動が必ず行われるのに対し, カメルーンでは休憩時間以外の戸外活動が行われるのは週に1度か2度の運動の時間のみという点がある。これについては, 多くの要因が考えられる。カメルーンでは, 読み書き計算などの座学での活動に対してより細かな目標が提示されていることに加え, 既に日常生活の中で子どもたちがフ

ランス語を理解していることにより座学での活動がブルキナファソよりも容易ということが要因になる可能性がある。しかし, 英語システムはその限りではないが座学が多いことは仏語システムと変わらない。ブルキナファソでも毎日の活動に目標が書かれるが, それは教師が決めたものである。また, ブルキナファソの日常生活は現地語が用いられることが多く, 幼稚園で初めてフランス語に触れる子どもも少なくないため学習活動は容易ではない。さらに, ブルキナファソの幼稚園の園児数はカメルーンに比べて多いため, 子どもたち全員が実際に数を数えたり, 物に触れたりする活動のために屋外で動く時間が必要と考えることもできる。気候的に熱気が室内に籠りやすく時期によっては45℃程度まで気温が上がるブルキナファソでは, 日常的に屋外で過ごすことが多い。また, 幼稚園のバカンスである6月中旬から9月末までは雨季のため雨が定期的に降るが, 学期中はほぼ乾季でほとんど雨は降らず, 雨が降れば多くの職員や園児は幼稚園に来ない。カメルーンは学期中も雨が降り, 雨でも学校がある。雨でも元々室内の活動であれば内容を変更する必要はないだろう。このような環境や文化背景の違いが実際のプログラムの活動に影響している可能性も考えられる。

最後に, 本稿の課題をまとめておきたい。2017 - 2018年度カメルーンではナショナルプログラムの改訂が行われた。また, ブルキナファソでは2015年頃からナショナルプログラムの改訂に向けてパイロット校で試験的な活動が行われている。こうした動きを視野に入れ, フランスのシステムとの異同, 比較も行いながら, 両国が自国に適した独自の幼児教育をいかに展開していくかを分析することが重要であると考えられる。

## 参考文献

- 外務省「ブルキナファソ (Burkina Faso) 基礎データ」  
 <<http://www.mofa.go.jp/mofaj/area/burkina/data.html>> 2018年8月18日最終閲覧
- 外務省「カメルーン共和国 (Republic of Cameroon) 基礎データ」  
 <<http://www.mofa.go.jp/mofaj/area/cameroon/data.html>> 2018年8月18日最終閲覧
- UNESCO (2016) Global Education Monitoring Report 2016 :Education for people and planet: Creating sustainable futures for all, UNESCO:Paris
- 浜野隆, 三輪千明 (2012) 『発展途上国の保育と国際協力』 東信堂
- パメラ・オーバーヒューマ, ミハエラ・ウーリッチ (2004) 『ヨーロッパの保育と保育者養成』 大阪公立



大学共同出版会  
Ministère de l' Education de Base Délégation  
Régionale du Centre Inspection de coordination des  
enseignements Inspection régionale de pédagogie  
en charge de l' enseignement maternel ( 発行年  
不明 ) “REPARTITIONS SEQUENTIELLES  
HARMONISEES DES ECOLES MATERNELLES  
DE LA REGION DU CENTRE DEUXIEME  
ANNEE”  
Direction de la Promotion de l' Encadrement de la  
Petite Enfance (1995) PROGRAMME NATIONAL

D' EDUCATION PRESCOLAIRE, Ministere de l'  
action social et de la solidarite national  
Ministere de l' Education Nationale (1887)  
Programme de l' Ecole Maternelle Camerounaise,  
Ministere de l' Education Nationale  
OECD (2006) “starting strong II : Early Childhood  
Education and Care”  
OECD 編著, 星美和子他訳 (2011) 『OECD 保育白書  
—人生の始まりこそ力強く：乳幼児の教育とケア  
(ECEC) の国際比較』 明石書店